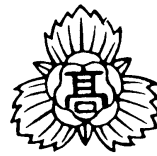


山形県立寒河江高等学校 学校だより

ぶん すい れい
分水嶺



平成 30 年 5 月 31 日

第 13 号

県高校総体 チーム寒高出陣！

12 競技に 182 名の選手団一起こせ “寒高旋風”

熱戦が展開された地区高校総体から二週間あまり、いよいよ県高校総体がスタートする。東北大会でインターハイ出場が決まる陸上競技や、試合数の関係で一週間早く始まったサッカーを除き、ほとんどの競技が6月1日から3日間の日程で行われ、県内各地を会場に戦いの火ぶたが切って落とされる。本校は男子109名、女子73名、合計**182名**という大選手団を擁し、昨年果たせなかったインターハイ出場を目指して、「**チーム寒高**」一丸となって戦いに臨むことになる。チームの核となる3年生は、昨年度から本校運動部の中心として活躍してきた選手が多く、県内屈指の競技力を持つ者も少なくない。自信を持って試合に臨んでもらいたいと思う。地元インターハイが終わり、どの競技も例年以上に上位校の力が接近し、大会本番でも大接戦が予想される。たとえ格上相手の試合でも、必死に食らいつくことで相手の焦りを引き出すことができるし、数少ないチャンスを生かし勢いに乗ることで、必ず互角の勝負に持ち込むことができる。逆にこちらの力が上でも、試合の中で苦しい時間帯は必ずあると覚悟すること。そのような時こそ、重ねてきた練習を思い、仲間と互いに励ましあって流れを奪い返せ。寒高生みんなが心をつにして応援している。**巻き起こせ“寒高旋風”**

テニス女子 矢野・石澤ペア激戦を制し栄冠獲得！

【地区高校総体上位入賞一覧】<3位以上>

優 勝：テニス女子ダブルス 矢野桜子（3年）・石澤真衣子（1年）ペア

準優勝：弓道女子個人 高橋萌々子（3年）

三 位：ハンドボール男子、卓球男子団体、弓道男子団体、テニス女子団体、水泳女子総合

卓球男子シングルス 吉田伊織（3年）、

卓球男子ダブルス 和田紘政（3年）・吉田伊織（3年）組

テニス女子シングルス 矢野桜子（3年）、石澤真衣子（1年）

カヌー男子カヤックシングル 200m、同 500m 齋藤慎太郎（2年）

カヌー女子カヤックシングル 3000m 佐藤奈津（1年）

創立97周年記念式典終了一後輩たちに熱いエール

5月1日実施 式典終了後、山形県副知事 若松正俊氏（高26回卒）より記念講演を頂きました

祝 増川知保 国際大会でメダル獲得！

5月11日(金)から13日(日)までの三日間、オーストラリア・アデレードで開催された「カヌースプリント2018アジア・パシフィック大会」に、日本代表の一員として参加した増川知保(3年)選手は、カヤックシングル200m・U18で6位入賞を果たすとともに、カヤックフォア200m・U21の一員として銀メダルを獲得。カヤックフォア500m・U21とミックス(男女混合)200mでも銅メダル獲得に貢献するなど、合わせて三つのメダルを手にする活躍を見せてくれた。インターハイ上位進出を見据えて、この国際大会を大きな自信としつつも、まずは県高校総体での頂点を目指して練習を重ねてもらいたい。

祝 吉田貴如(3年)県高校将棋の頂点へ

女子団体も全国大会への切符を獲得

5月19日(土)上山明新館高校を会場に「県高校将棋選手権大会」が開催され、本校将棋愛好会の吉田貴如選手が男子個人の部において、並み居る強敵を倒し見事県高校チャンピオンの荣誉に輝いた。吉田選手は、8月9日・10日の両日長野県千曲市で開催される全国大会に山形県代表として出場し、全国の強豪たちと覇を競うことになる。また、本校将棋愛好会は女子団体の部く本間 愛(3年)、村山結希乃(2年)、菊地優希(3年)においても全国大会の出場権を手中にすることができた。全国大会(全国高総文祭)では、日ごろの練習の成果を発揮し、全力で戦ってきてもらいたい。

吹奏楽部定期演奏会6/3(日)14:00開演

54回の歴史を重ねる吹奏楽部定演が、今年も寒河江市民文化会館を会場に行われます。昨年同様三部構成で、楽しく聞き応えのあるステージが準備されています。吹奏楽部には、今年度新たに13名の部員が加入し、34名の大所帯となりました。伝統ある定演を成功させるべく、毎日熱のこもった練習が続けられています。例年多くの観客を集める定期演奏会ですが、今年もぜひ一人でも多くの皆さんにご来場頂き、演奏をお聴き頂きたいと思っております。期待は裏切りません。

《野球部 春2勝挙げるも 県大会出場ならず》

高校野球において、強豪ひしめく村山地区を勝ち抜くことは、ときに県で勝つより難しいと言われる。3年間公式戦未勝利(13連敗)と苦しんできた野球部は、今春の地区大会において、山形学院、山形明正2校をやぶり、ようやくその長いトンネルを抜けることができた。二度の代表決定戦において、山形南、創学館に敗れ、惜しくも県大会出場を果たすことはできなかったが、主戦である左腕・鈴木(海)の成長とともに、守備も試合を追うごとに安定してきており、創学館(今春県大会ベスト4)戦においては、9回2アウトまでリードするなど、際どい試合を経験することができたのは、この春の大きな収穫であろう。甲子園予選までひと月半、あっという間に夏の本番がやってくる。課題の打撃力アップに努め、夏の快進撃を期待する。